

扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限無し
解禁	無し

## 記者発表資料

平成23年 3月16日

### 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落による影響範囲を検討します

～雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会の開催～

現在、雲仙普賢岳の火山活動は終息しているものの、雲仙岳平成新山周辺には、噴火活動に伴い、溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が不安定に存在しています。

島原半島の地元自治体は溶岩ドーム崩落等の災害を懸念し、平成23年2月 雲仙・普賢岳火山砂防促進期成同盟会（会長 島原市長）より、「溶岩ドームが崩壊した場合に発生する現象、その影響範囲に関し、学識者の意見を反映し、高度な技術力を駆使した検討」の要望が国土交通省になされました。

また、平成23年1月、地元議会において、地元自治体要望と同様の主旨の意見書が可決されたところです。

そこで、当事務所は、学識経験者から構成される「雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会」を下記のとおり開催し、溶岩ドーム崩壊による影響範囲を検討することとしました。

今回の会議では、溶岩ドームの観測データ、現地調査結果を基に、溶岩ドーム崩壊に関し今後想定される現象について討議します。

#### 【概要】

開催日 : 平成23年 3月18日 (金)

名 称 : 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会

時 間 : 13:00～14:00

開催場所 : 雲仙復興事務所 3F会議室

なお、委員会は公開で行い、本委員会終了後、下記のとおり記者会見を実施する予定です。

開催時間 : 14:00～14:30

開催場所 : 雲仙復興事務所 2F入札室

#### 【補足】

平成23年 3月18日 (金) 委員会当日、委員等による現地調査を別紙のとおり実施します。

※行程等、当日の天候や諸事情により変更する場合がありますのでご了承下さい。

発表記者クラブ  
・島原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所  
(0957) 64-4171 (代表)  
技術副所長 田中 育穂 (内204)  
調査課長 前田 昭浩 (内351)  
ホームページアドレス:<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

別紙：補足資料

平成23年 3月18日（金）委員会当日、委員等による現地調査を下記のとおり実施します。

■合成開口レーダーによる溶岩ドーム観測の現地機能試験（小雨決行）

時間： 11時00分から11時30分

場所： 赤松谷川10号床固工

なお、取材御希望の方々は、下記のとおり集合願います。

集合場所：大野木場砂防監視所駐車場（監視所横）

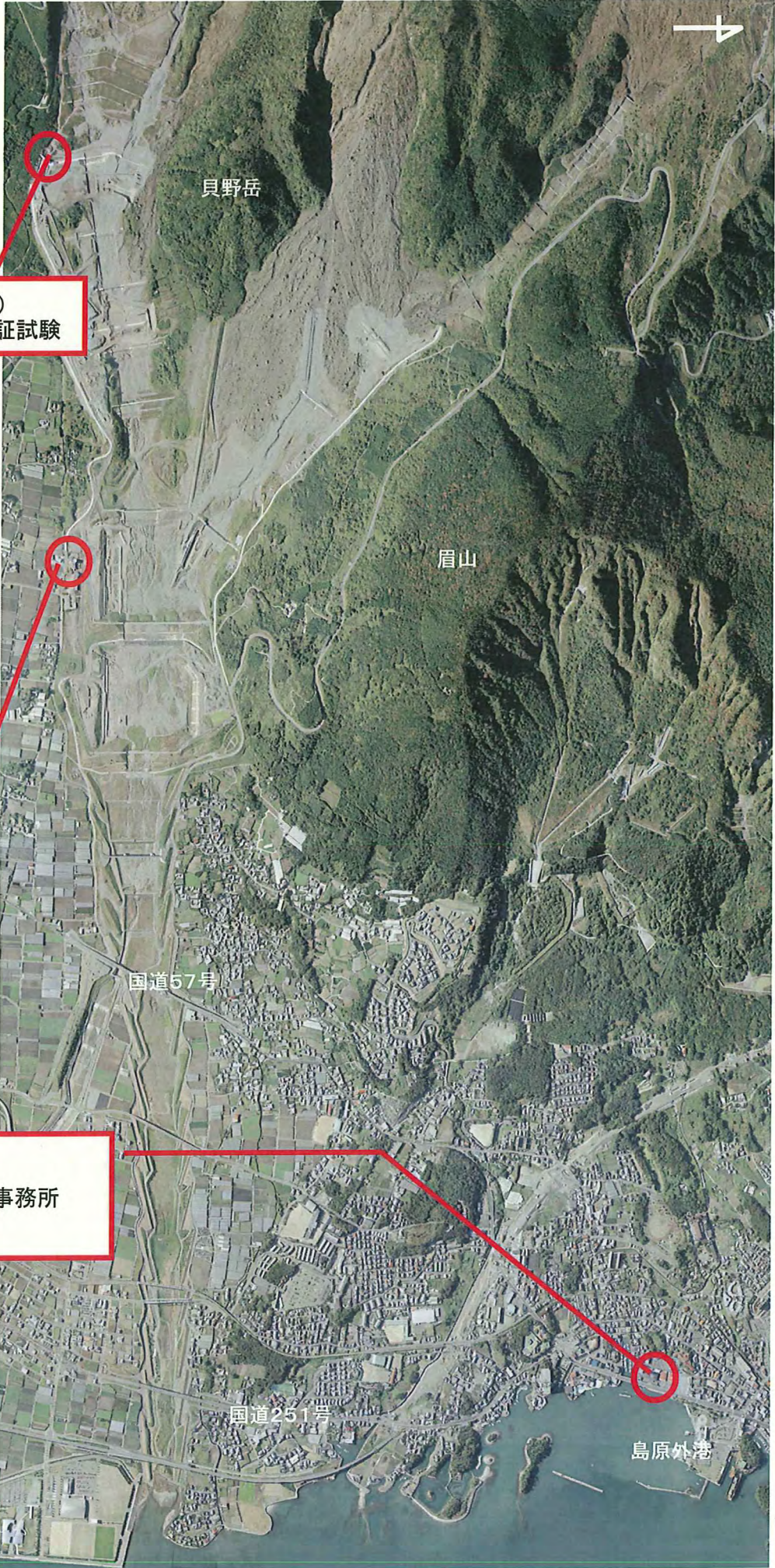
集合時間：10時50分までに集合願います

補足： 本装置による検証試験は、火山砂防分野において国内では初めてとなります。

なお、本装置はイタリア製で、基本原理は、送信した電波と受信した電波のずれから変位を求めるものです。

※合成開口レーダー試験現場は、砂防指定地内の砂防工事現場であり、取材に際しては、ヘルメット着用の安全対策を準備願います。

# 位置案内図



赤松谷川床固工(右岸袖部)  
合成開口レーダー性能検証試験

大野木場砂防監視所  
・関係機関集合場所  
・取材御希望の方々

委員会開催場所: 雲仙復興事務所

# 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会 第1回

## 議事次第

開催日時 : 平成23年 3月18日(金) 13:00~14:00

開催場所 : 雲仙復興事務所 3F会議室

### 議事次第 :

1. 御挨拶  
島原市長 横田修一郎 13:00~13:10
2. 開 会 13:10
3. 開会挨拶  
雲仙復興事務所 所長 田村 圭司 13:10~13:15
4. 検討次第 13:15~14:00
  - (1) 規約の承認
  - (2) 委員紹介
  - (3) 委員長の選任
  - (4) 議事:溶岩ドームの現状と今後想定される現象について
5. その他
6. 閉 会 14:00

なお、本委員会閉会后、記者会見を雲仙復興事務所 2F入札室で  
14:00から14:30まで行います。